

京都帝國大學文學部考古學研究報告 第十二册

讚岐高松石清尾山石塚の研究

昭和六年—昭和七年

京都帝國大學

京都帝國大學文學部考古學研究報告 第十二册

讚岐高松石清尾山石塚の研究

昭和六年—昭和七年

京都帝國大學

序 言

『京都帝國大學文學部考古學研究報告』第十二冊として茲に『讃岐高松石清尾山石塚の研究』を出版す。本研究は昭和六年四月以降我が考古學教室に於いて遂行せる香川縣高松市附近の石塚古墳の調査研究の結果を収録せるものにして、當時余輩の外文學部講師梅原末治君元助手(現講師)島田貞彦君副手有光敎一君等協同調査の事に従ひしも、其の結果を整理考證して、遂に此の報告を完成せるは、全く梅原末治君一人に他ならず此の石清尾山の石塚古墳は早く故若林勝邦氏をはじめ、谷井濟一君長町彰君岡田唯吉君等に由つて學界に紹介せらるゝ所ありしも、此の本邦墓制史上最も特異なる古墳の一群は、梅原君の精到なる研究を俟ちて、其の年代觀と共に特殊の性質は一層明確にせられ、我が考古學界に寄與する所決して鮮少なからざるは、余輩の信じて疑はざる所なり。

余輩は本石塚の調査に際して、香川縣當局の與へられたる多大なる援助を感謝し、又た特に同縣史蹟調査員岡田唯吉君、縣屬神保鉄雄君、高松高等商業學校敎授寺田貞次君、上原準一君、長町彰君、皇室博物館鑑査官後藤守一君等の厚意を銘記せざるを得ず。なほ此等諸氏の外、谷井濟一君、藤田亮策君、小泉顯夫君等の撮影に係る寫眞等の掲載を快諾せられたるは、吾人の謝意を表せんと欲する所なり。

本報告の附録として、該石塚中の顯著なる遺物と關係ある石枕造附石棺聚成を掲出し、彼是參考の便あらしめたるが、是れ亦梅原末治君の集成に係るものなり。

序
言

昭和八年三月

二

京都帝國大學文學部考古學教室に於いて
京都帝國大學教授
文學博士
濱田耕作

目次

讃岐高松石清尾山石塚の研究

第一章	序	説	一頁
第一節	石清尾山の地形と地質		四
第二節	遺跡の概観		八
第二章	猫塚古墳と發見の遺物		一二
第一節	古墳の位置と其の現狀		一二
第二節	發掘の顛末と内部の構造		一九
第三節	發見の遺物		二四
第三章	石船塚を中心とした諸石塚		三七
第一節	姫塚古墳		三七
第二節	石船塚と其の石棺		四二
第三節	鏡塚古墳		五〇
第四節	北大塚と關係の一方墳		五二
第五節	自餘の二古墳		五五

第四章 稻荷山の諸石塚 五九

第一節 稻荷山姫塚 五九

第二節 姫塚の南北にある石塚 六一

第三節 稻荷山西方鞍部の遺跡 六四

第五章 自餘の遺跡と出土遺物 六七

第一節 自餘の石塚 六七

第二節 石清尾山の盛土墳 七四

第三節 自餘の發見遺物 七七

第六章 後論 八四

第一節 石清尾山石塚の特性 八四

第二節 石塚營造の年代 八八

第三節 石塚の性質と其の古代墓制史上の位置 一〇一

附録 日本石枕造附石棺聚成 一一

圖版目次

本文對照頁

第一	讚岐高松附近地形圖(小野三正君製圖)	五六・八九
第二	石清尾山古墳分布圖(小野三正君製圖)	五—一三・三七・四二・五〇・五五・五九・七五・一〇六・一〇七
第三	屋島より高松市並に石清尾山遠望(高松小倉寫真館寫真)	五六
第四	太田村より北望の石清尾山塊(高松小倉寫真館寫真)	五六
第五	(1) 石船塚より猫塚所在地遠望(島田君寫真)	一二
	(2) 猫塚附近より姫塚遠望(梅原寫真)	三七
第六	猫塚古墳外形寫真—南東方より中央丘及び西南前方部を望む(岡田唯吉氏所贈寫真)	一二
第七	猫塚古墳外形實測圖(梅原・島田・有光實測・梅原製圖)	一二—一八・三三・八五・八九—九二
第八	(1) 猫塚古墳中圓部積石(大正二年文學士谷井濟一氏撮影)	一三
	(2) 猫塚古墳中圓部一石室(同上)	一五・一六・八九・九二・九三
第九	(1) 猫塚中圓部積石間一石室(同上)	一五・一六・八九・九二・九三
	(2) 同 上(島田君寫真)	一五・一六・八九・九二・九三
第一〇	(1) 猫塚發見長宜子孫内行花紋鏡	二六・二七・八一・九六—九八
	(2) 同 上内行花紋精白鏡	二六・二七・八一・九六—九八
第一一	(1) 猫塚發見獸帶鏡	二七・二八・九五・九八
	(2) 同 上四獸鏡	二七・二八・九五・九八
第一二	(1) 猫塚發見三神三獸々帶鏡	二八・二九・九五・九八
	(2) 同 上石釧	二八・二九・九五・九八
第一三	猫塚發見銅製短劍及銅鏃	二九—三二・八七・九五・九六
第一四	猫塚發見遺物 (1) 銅製短劍(實大)	二九—三二・八七・九五・九六
	(2) 銅鏃(實大)	二九—三二・八七・九五・九六
	(3) 鐵鏃(實大)	二九—三二・八七・九五・九六

第一五	猫塚發見筒形銅器(實大)	三〇—四一、九五—九六
第一六	猫塚發見銅製短劍筒形銅器銅鏃及鐵鏃實測圖(梅原)	二九—三二、八七—九五—九七
第一七	猫塚發見遺物 (1) 素燒壺 (2) 鐵製鑿 (3) 鐵製鉞 (4) 鐵製斧頭	三二—三四、八七—九四—九五
第一八	(1) 猫塚附近より姫塚、石船塚北大塚等所在摺鉢谷東峰遠望(島田君寫真)	九一〇—三七一〇六
	(2) 稻荷山姫塚附近より姫塚、石船塚等所在摺鉢谷東峰遠望(同上)	九一〇—三七一〇六
第一九	姫塚古墳外形實測圖(島田・梅原・有光實測・梅原製圖)	三七—四一、八五—八九—九二
第二〇	姫塚古墳 (1) 前方部より後圓部積石所見(島田君寫真)	三七
	(2) 後圓部側面石築狀態(同上)	三八—八四—一〇七
第二一	石船塚外形實測圖(島田・梅原・有光實測・梅原製圖)	四二—四四、四六—四九、八五—八九—九二
第二二	石船塚古墳 (1) 前方部正面積石狀態(島田君寫真)	四三
	(2) 後圓部前端所見前方部積石狀態(梅原寫真)	四三
第二二	石船塚古墳 (1) 前方部所見後圓部積石(同上)	四三
	(2) 前方部中程小石室(島田君寫真)	四九—八九—九二—九三
第二四	石船塚古墳 (1) 後圓部中央石棺暴露狀態(岡田唯吉氏所贈寫真)	四六
	(2) 同 上細部(同上)	四六—四九
第二五	石船塚石棺實測圖(梅原)	四六—四九、八五—九三—九四
第二六	鏡塚古墳外形實測圖(梅原・島田・有光實測・梅原製圖)	五〇—五一、八五—八九—九二
第二七	鏡塚古墳 (1) 南前方上所見中圓部積石(梅原寫真)	五〇—五一

第二八	(2) 中圓端所見北前方部積石(同上) 五〇・五一
	北大塚及前面一方墳外形實測圖(梅原・島田・有光實測・梅原製圖) 五二—五四・八五・八九—九二
第二九	北大塚古墳 (1) 後圓端所見前方部(島田君寫真) 五二・五三
	(2) 後圓部側面積石狀態(岡田唯吉氏所贈寫真) 五三
第三〇	(1) 北大塚前面一方墳石築狀態(島田君寫真) 五四
	(2) 北大塚西方一古墳中央堅穴式石室(同上) 五六・五七
第三一	(1) 北大塚前方部石築狀態(岡田唯吉氏所贈寫真) 五二・五三
	(2) 稻荷山姬塚前方部石築狀態(島田君寫真) 六〇・八五・一〇七
第三二	稻荷山姬塚外形實測圖(島田・有光實測・梅原補正製圖) 五九—六一・八九—九二
第三三	(1) 摺鉢谷所在一石塚(梅原寫真) 六七・六八・四
	(2) 同 上一石塚石室及箱式棺(岡田氏所贈寫真) 六八・八九・九二・九三
第三四	摺鉢谷入口一石塚小石室(同上) 六九・八九・九二・九三
第三五	(1) 土居の宮後丘上石塚堅穴式石室(小倉寫真館寫真) 七一・七二・八九・九二・九三
	(2) 「切通し」上一石塚堅穴式石室(同上) 七三・七四・八九・九二・九三
第三六	土居の宮後丘上一石塚石室(小倉寫真館寫真) (1) 西端狀態 (2) 東半部狀態 七二・七三・八九・九二・九三
第三七	摺鉢谷西腹所在橫穴式石室二例實測圖(梅原) 一〇・七五—七七
第三八	摺鉢谷所在橫穴式石室三例(梅原寫真) 一〇・七五—七七
第三九	石清尾山積石塚發見獸帶方格規矩四神鏡(鈴木氏寫真) 四一・七四・七九—八二・八七・七七

第四〇 石清尾山發見遺物 (1) 銅鏃 (2) 內行花紋鏡 (3) 管玉 (鈴木氏寫真) 七八七九八二

附錄 圖版

第一 石枕造附石棺圖 (其二) (1) 讚岐善通寺町遠藤山石棺 (岡田唯吉氏寄贈寫真) (2) 同三谷村

丸山古墳石棺 (梅原寫真) (3) 同淺野村舟岡石棺身 (同上) 四八四九九三九四二一一二三

第二 同 上 (其二) (1) 河內國玉手安福寺手洗鉢石棺蓋 (有光君寫真) (2) 肥後國杉上

吉野山頂石棺 (古賀德義君寫真) (3) 丹後國桑飼村蛭子山古墳石棺 (京都府寫真) 四八九三九四二一一二三

第三 同 上 (其三) (1) 筑後國上楠田石神山石棺 (谷井濟一氏寫真) (2) 肥後國不知火村

發見石棺 (古賀德義君寫真) (3) 越前社村發見石棺 (考古資料寫真集) 九三九四二一一二三

第四 日本石枕造附石棺實測圖聚成 (梅原) 九三九四二〇七二一一二三

第五 越前國社村發見石棺實測圖 (高橋直一君實測製圖) 一一一一二三

挿圖目次

第一圖	猫塚古墳縱斷面圖(梅原)	一四・一五
第二圖	猫塚中圓部第一石室圖(同上)	一六
第三圖	猫塚中圓部第二石室斷面(同上)	一七
第四圖	猫塚中圓部第三石室(長町彰君寫真)	一七
第五圖	猫塚構造想定圖(梅原)	二三
第六圖	猫塚發見古鏡斷面圖(同上)	二六
第七圖	丹後國蛭子山古墳發見の鐵劍と猫塚古墳の銅劍(同上)	三〇
第八圖	猫塚發見素燒壺(同上)	三三
第九圖	猫塚發見鈍形狀圖(同上)	三四
第一〇圖	遠江國赤佐村出土筒形銅器圖(佐藤虎雄君)	三六
第一一圖	姫塚復原縱斷面圖(梅原)	三八
第一二圖	姫塚後圓石築狀態見取圖(同上)	三九
第一三圖	姫塚及石船塚發見土器片形狀圖(同上)	四〇
第一四圖	石船塚發見埴輪圓筒片(鈴木氏寫真)	四四
第一五圖	石船塚發見土器片(同上)	四五
第一六圖	石船塚前方部石室形狀圖(梅原)	四九

第一七圖 北大塚前方端横断面圖(同上) 五三

第一八圖 方墳前面直線狀の石築(梅原寫眞) 五四

第一九圖 西北端石塚形狀略圖(梅原) 五五

第二〇圖 西北端石塚石室形狀圖(同上) 五六

第二一圖 姫塚と石塚との中間の一石塚(同上) 五七

第二二圖 稻荷山姫塚前方端石築狀態(同上) 六〇

第二三圖 稻荷山南塚形狀略圖(有光略測梅原修正製圖) 六二

第二四圖 稻荷山北端石塚形狀略圖(同上) 六三

第二五圖 鞍部石塚出土土器圖(長町彰君) 六六

第二六圖 摺鉢谷一石塚石室實測圖(梅原) 六八

第二七圖 山裾石塚石室圖(岡田唯吉君) 六九

第二八圖 摺鉢谷西北方一石塚形狀略圖(梅原) 七〇

第二九圖 「切通し」上の石塚の石室(同上) 七三

第三〇圖 丹後國桑飼村蛭子山古墳發見内行花紋鏡 八一

第三一圖 石清尾山石塚外形圖(梅原) 八五

第三二圖 歐洲に於ける石塚例 (1)ブリタニー、ロクマリアケの石塚(藤田亮策君寫眞) (2)同
上細部(同上) (3)愛蘭の一石塚(マカリストア教授の著書より) 八八

第三三圖 東亞の石塚例 (1)(2)滿洲旅順老鐵山西嶺石塚(濱田博士寫眞) (3)アルタイ地方バ 八八

第三四圖	對馬國鷄知村石塚形狀圖(後藤守一君)	八九六
第三五圖	(一)大和國磯城郡橿山古墳外形實測圖(梅原實測製圖)	九〇・九一
	(二)讚岐國下笠居村中山經塚外形略測圖(梅原實測製圖)	九〇・九一
第三六圖	大和國磯城郡橿山古墳(河鱒實英・有光教一兩君寫真)	九〇・九一
第三七圖	盛土墳に於ける豎穴式石室例 (1)河内國玉手村西山古墳石室(島田君寫真) (2)攝津國會下山二本松古墳石室(兵庫縣報告より) (3)紀伊國岩橋千塚第四十七號墳石室(和歌山縣報告より)	九二・九三
第三八圖	本邦西部に於ける石塚例 (1)對馬國佐須奈村白岳石塚(後藤守一氏寫真) (2)同國鷄知村石塚(同上) (3)肥前國唐津神集島の石塚(同上)	一〇二・一〇三
第三九圖	(1)滿洲輯安縣將軍塚(澤俊一君寫真) (2)同山城子兄塚(古蹟圖譜より) (3)朝鮮大邱府一ドルメン下の積石(小泉顯夫君寫真)	一〇二・一〇三
第四〇圖	上野國赤堀古墳前方部側面の葺石(後藤守一氏寫真)	一〇八

京都帝國大學文學部



版權所有

讀高松石尾山塚の研究

昭和八年三月廿八日印刷
昭和八年五月二十日發行

定價七圓

編輯代表者 濱田耕作

東京市神田區北甲賀町二十三番地

發行者 尾高豐作

京都市中京區柳馬場三條下ル

印刷者 福井松之助

東京市神田區
北甲賀町二十三番地

刀江書院

振替東京七三二一八番

株式會社似玉堂

京都帝國大學考古學部古學研究報告目録

第一冊 肥後に於ける裝飾ある古墳及横穴 (大正六年發行) 絶版……………濱田耕作、梅原末治

第二冊 河内國府高安及喜志石器時代遺跡發掘報告……………濱田耕作、梅原末治、島田貞彦
河内國府肥後轟等にて發掘せる人骨 (大正七年發行) 絶版……………鈴木文太郎

第三冊 九州に於ける裝飾ある古墳……………濱田耕作、梅原末治、島田貞彦
彌生式土器形式分類聚成圖 (大正八年發行) 絶版

第四冊 河内國府石器時代遺跡第二回發掘報告、河内國府石器時代人骨調査……………濱田耕作、長谷部言人
(大正九年發行) 絶版

第五冊 備中國淺口郡津雲貝塚發掘報告、肥後國宇土郡轟貝塚發掘報告……………清野謙次、島田貞彦
(大正九年發行) 絶版……………濱田耕作、梅原末治

第六冊 薩摩國出水郡出水町尾崎貝塚發掘調査報告、出水貝塚の
貝殼獸骨及び人骨、薩摩國揖宿郡指宿村遺跡調査報告……………濱田耕作、島田貞彦
(大正十年發行) 定價金四圓……………長谷部言人

第七冊 攝津高槻在東氏所藏の切支丹遺物、京都及其附近發見の切支丹墓碑……………新村 出、濱田耕作
切支丹教名合字鞍及南蠻人繪鞍に就いて……………濱田耕作、梅原末治

第八冊 近江國高島郡水尾村の古墳……………濱田耕作、梅原末治
日本發見金製耳飾刀劍環頭同鹿角製刀裝具聚成 (大正十三年發行) 絶版

第九冊 豐後摩崖石佛の研究 (大正十四年發行) 絶版……………濱田耕作

第十冊 出雲上代玉作遺物の研究……………濱田耕作、島田貞彦、梅原末治
日本發見磨製石鏃及石劍聚成 (昭和二年發行) 定價金八圓

第十一冊 筑前須玖史前遺跡の研究……………島田貞彦
須玖岡本發見の古鏡に就いて (昭和五年發行) 定價金八圓……………梅原末治

REPORTS UPON ARCHÆOLOGICAL RESEARCH

- Vol. I. Ornamented Tombs in Higo. ...By K. Hamada & S. Umehara.
47 Plates (1917) *Out of Print*
- Vol. II. Excavation of Neolithic Sites at Kô, Kishi, &c. ...
... .. By K. Hamada, S. Umehara, S. Shimada & B. Suzuki.
31 Plates (1918) *Out of Print*
- Vol. III. Ornamented Tombs in Kyûshû.... ..
... .. By K. Hamada, S. Shimada & S. Umehara.
Corpus of the Yayoi-Type Pottery.
35 Plates (1918) *Out of Print*
- Vol. IV. Second Excavation at Kô, &c. ...By K. Hamada & K. Hasebe.
24 Plates (1920) *Out of Print*
- Vol. V. Excavation of the Shell-Mounds at Tsukumo and Todo-
roki.
... .. By K. Kiyono, M. Sakakibara, S. Shimada & K. Hamada.
53 Plates (1920) *Out of Print*
- Vol. VI. Excavation of the Shell-Mound at Idzumi.
... .. By K. Hasebe, S. Shimada & K. Hamada.
A Prehistoric Site at Ibusaki.By K. Hamada.
39 Plates (1921) *Out of Print*
- Vol. VII. Christian Relics Found at M. Higashi's House near
Takatsuki.By I. Shimmura.
Tomb-Stones of the Christians in the 17th Century Found
near Kyoto.By K. Hamada & S. Shimmura.
Two Horse-Saddles with Pictures of Portuguese Mer-
chants, &c.By K. Hamada & S. Umehara.
Corpus of the Bronze Implements Found in Japan.
1 Coloured & 39 Collotype Plates (1923) *6 Yen*
- Vol. VIII. Ancient Sepulchre at Midzuo, Omi. By K. Hamada & S. Umehara.
Corpus of the Gold Ear-Pendants, &c. Found in Japan.
21 Plates (1923) *Out of Print*
- Vol. IX. Rock-Cut Buddhist Images in the Province of Bungo. ...
... .. By K. Hamada.
77 Plates (1925) *Out of Print*
- Vol. X. Studies on the Remains of Ancient Bead-Workers in
Idzumo.... ..By K. Hamada, S. Shimada & S. Umehara.
Corpus of the Polished Arrow-Heads and Daggers Found in Japan.
43 Plates (1927) *8 Yen*
- Vol. XI. Studies on the Prehistoric Site at Okamomo, Suku, in
the Province of Chikuzen.... ..By S. Shimada.
A Special Study of the Ancient Mirrors Found at Oka-
moto, Suku. By S. Umehara.
30 Plates (1930) *8 Yen*

Edited by the ARCHÆOLOGICAL INSTITUTE, KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY..

Publishers: The Tôkô-Shoin, 23 Kitakôga-chô, Kanda, Tokyo.

REPORT UPON ARCHÆOLOGICAL RESEARCH
IN THE DEPARTMENT OF LITERATURE, KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY
VOLUME XII, 1931—1932

STUDY
ON THE CAIRNS ON MT. IWASEO
NEAR TAKAMATSU, IN SANUKI

APPENDIX

CORPUS OF THE STONE SARCOPHAGI WITH ENGRAVED HEAD-RESTS
FOUND IN ANCIENT SEPULCHRES OF JAPAN



THE KYOTO IMPERIAL UNIVERSITY

PUBLISHED
BY
THE TÔKÔ-SHOIN, TOKYO
1933